

教育委員会 インターベンション小委員会  
「乳腺の低エコー域に対するアプローチ」 座長のことば

座長:何森 亜由美(高松平和病院 乳腺外科)  
藤田 崇史(名古屋市立大学病院 乳腺外科)

超音波検査で低エコー域を疑う時に、拾い上げるかどうか、その後に経過観察するか、インターベンションを行うか、どのデバイスを用いるか、どこから採取するか、画像と病理結果の整合性の検証が問題となる。  
特に乳腺診療の初学者には悩ましいのではないだろうか。

本企画では、診断に至るまでの問題点を提示したのちに、  
低エコー域を呈する病変として考えられる病理像について知っていただく。

最後に、実際の症例の診断過程を皆さんとともに考えていきたい。  
ご存じのように、低エコー域の診断はインターベンション前の画像評価が重要なので  
医師のみならず技師にとっても有意義なのではと期待している。